

—— 第一回バイオイメージングセミナー ——

バイオイメージングとは、生命のもつアーキテクチャを機能、構造の観点から画像化することで、昨今のライフサイエンス、医療等にとって必須の技術です。九州工業大学大学院情報工学研究院では、バイオイメージングに焦点をあてた研究グループが活動を始めました。今回、下記のセミナーを開催します。多数のご参加をお待ち致しております。

記

日時：2012年12月21日 14:40～16:10

場所：九州工業大学講義棟 1201号室

講演者：王子田彰夫教授（九州大学大学院薬学研究院・生体分析化学分野）

主催：九州工業大学大学院情報工学研究院バイオイメージンググループ

タンパク質機能解析のための特異的ラベル化法の開発

九大院薬 王子田 彰夫

小分子プローブをタンパク質へラベル化することでタンパク質の様々な機能解析が可能となる。例えば、蛍光色素をラベル化すれば、生きた細胞内でタンパク質を可視化解析する蛍光バイオイメージングへと応用できる。しかし、このような機能性プローブ分子を用いたタンパク質の機能解析を行うためには、プローブを標的タンパク質のみに選択的に、そしてより好ましくはタンパク質上の特定の部位に特異的に導入できるラベル化技術が必要となる。講演では、この「如何にして望みのタンパク質を特異的にラベル化するのか？」という問題を解決するために私たちが開発を進めているタンパク質ラベル化法「リアクティブタグ法」について紹介します。

1) H. Nonaka, S. Tsukiji, A. Ojida, I. Hamachi, *J. Am. Chem. Soc.*, 129, 15777-15779 (2007).

2) H. Nonaka, S. Fujishima, S. Uchinomiya, A. Ojida, I. Hamachi, *J. Am. Chem. Soc.*, 132, 9301-9309 (2010).

以上